

学外展

# 東京造形大学写真研究所

TOKYO ZOKEI UNIVERSITY PHOTOGRAPHIC LABORATORY



## 参加学生

- 岩切 悠生
- 関口 楓七
- シャルトン 未呼サリイ
- 上田 千鶴
- 遠藤 音人
- 尾形 陽
- 加藤 慧汰
- 佐々木 美緒
- 島崎 紗帆
- 鈴木 那月
- 武重 百華
- SARA TANG
- 中山 朋美
- ハンセイエイ
- 半田 弘美
- 平石 空嘉
- 森 彬
- 森 葉也登
- 金 睿婷
- 杉山 太一
- 孫 佳奈
- 李 楊玉

## 担当教員

- 北野 謙、小平 雅尋



孫 佳奈

鈴木 那月

2023  
**11.17** 金 → **11.23** 木・祝

横浜 BankART KAIKO  
 神奈川県横浜市中区北仲通5丁目57-2 KITANAKA BRICK & WHITE 1F

**11:00 → 19:00** 入場無料  
 (最終日は16:30まで)

最新の情報はこちらで発信中!

主催：東京造形大学写真専攻領域

参加学生：学生 22名 (予定)

内容：平面写真作品のほか、動画、プロジェクション、インスタレーション、造本など、幅広い表現形態などを予定

お問い合わせ：写真専攻領域 shasin@zokei.ac.jp

instagram



X



専攻HP



学外展

# 東京造形大学写真研究所

TOKYO ZOKEI UNIVERSITY PHOTOGRAPHIC LABORATORY

東京造形大学写真専攻領域では、3、4年生を対象にした研究指標科目「写真演習A（表現研究）」の成果発表展を行います。現在、「写真」という語が何を表すのか、その枠組みが急速に崩れつつあります。この混乱した状況において、当写真専攻領域では、自己の表現を「研究」という視点から捉え直すことで、客観性と社会性を獲得することを目指しており、この度「写真研究所」と銘打って、横浜・BankART KAIKOの大スペースで、日頃の研究成果を一般や高校生の皆さんにご覧いただけます。会期中には「中学生から見た美術」をテーマにしたシンポジウムや、学生との作品鑑賞ツアー、展示作品の公開講評会などのイベントを行います。ぜひお越しください。

(使用した画像は前期に行われた中間展示のものです。)



平石 空嘉



武重 百華



森 葉也登



岩切 悠生

## 特別展示 大辻清司ポートフォリオ「In the Studio」

1966年の東京造形大学創設時の教授で、日本を代表する写真家・教育者である大辻清司の生誕100年を記念して、1950年撮影の貴重なガラス乾板（ネガ）から制作したモノクロームプリントを特別展示します。

## イベント

**11.18** 14:00～15:30 **シンポジウム「中学生から見た美術」(連続シンポジウム「美術と写真を考える」の第1回)**

高校、美術館、大学という異なる現場で美術教育に携わるパネラーをお招きして、中学生にとって、美術にどのような可能性があるのかについて考えます。

パネラー:木村登(東京都立晴海総合高等学校 美術科 教諭)、端山聡子(東京国立近代美術館 企画課主任学芸員/教育普及室長)、北野謙(東京造形大学 特任教授)、進行:鷹野隆大(東京造形大学 教授)

**11.19** 1回目 13:00、2回目 14:00 **写真を見る・聞く・話す**

定員:先着5名 所要時間:45分 対象:中高生、一般

参加者の皆さんと学生が一緒に、作品についておしゃべりをしながら、展示を鑑賞します。

各回5分前に受付にお集まりください。

**11.23** 14:30～16:30 **公開講評会**

ゲストに東京都写真美術館学芸員の山田裕理氏をお招きして、一般に公開の形で学生の作品を講評します。大学の授業をどなたでも見学していただけます。



会期

2023年11月17日(金)～11月23日(木・祝) 11:00～19:00

最終日は16:30まで 入場無料

会場

横浜 BankART KAIKO

会場のアクセス

神奈川県横浜市中区北仲通5丁目57-2 KITANAKA BRICK & WHITE 1F

みなとみらい線「馬車道」駅下車 2a 出口 徒歩1分